

公明党 横浜市会ニュース

第57号

民衆の声  
ボイス

## VOICE よこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com

2012

# 安心と活力ある横浜を!

横浜市会公明党はめざします

震災対策の拡充・強化

- 小中学校等の公共施設の耐震補強
- 大規模災害時に一元的な情報運用を可能にする(仮称)「被災者支援システム」の構築
- 土壤や食品の放射線対策の推進

子育て支援・教育の充実

- 小児医療費助成制度の対象を小学校6年生まで拡大、所得制限を撤廃
- 中学校昼食の充実
- 保育コンシェルジュのさらなる充実

健康社会の構築

- 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種を継続
- アレルギー対策の充実
- 高齢者・障がい者の孤立化の防止

横浜経済の活性化

- 若者雇用支援策の充実
- 中小企業の経営支援策の充実

## 新春企画

皆さまの暮らしをサポー<sup>ト</sup>ト!

# 公明党 政策かるた

### う ちの耐震、大丈夫?

地震防災の第一歩は「わが家」の耐震性強化です。

○住宅の無料耐震診断

(昭和56年5月以前竣工のもの)

○耐震補強工事補助金の増額

(平成26年3月末までの期限)

○家屋の一部を補強する耐震シエル

ターや防災ベッドの助成金

問い合わせは、

【建築局建築企画課】

電話・671・2943



防災ベッド

### ダ イエット、無理なく皆で健康社会

「健康長寿社会」「幸輪社会」の原点は一人ひとりに適した

○家庭・地域・事業者・行政

で取り組む「食育」

○大腸や女性特有のがんの無料

検診クーポンで予防を促進

○子どもから高齢者まで気軽に

スポーツに親しむため、地域

の環境整備を推進

○大腸や女性特有のがんの無料

検診クーポンで予防を促進

○子どもから高齢者まで気軽に

スポーツに親しむため、地域

の環境整備を推進



### う きょうきと、皆が集まる街づくり

多様な観光資源にあふれる横浜の魅力を内外に発信し、地域の活性化もめざします。

○アフリカ開発会議など大型国際会議、観光客、企業の誘致

○歩いて暮らせるコンパクトな街づくりと商店街の活性化

○活発な市民活動を展開できる

各区の区民利用施設の充実



第4回 アフリカ開発会議の模様

### リ ードし守る、若者雇用と中小企業

厳しい経済環境下では、雇用の確保と地域経済の活性化が何よりも求められています。

○若者等の就職活動を支援する

「ジョブマッチングよこはま」(要申込)

○「横浜市中小企業振興基本条例」の

ご相談は

(財)横浜市中小企業支援センター

電話・225・3700

## 横浜市をダブル選定!

国家プロジェクトとして全国の自治体から募集していた「環境未来都市」及び「国際戦略総合特区」に、公明党が推進してきた横浜市の2つの提案が選定されました。



理化学研究所 横浜研究所(鶴見区)

### 京浜臨海部ライフィノベーション 国際戦略総合特区



(写真提供 横浜市)

### 環境未来都市

がん・生活習慣病などの予防のための革新的なモデルとなる都市として、低炭素なまちづくりの実現に取り組みます。

慣病などの予防のための革新的なモデルとなる都市として、低炭素なまちづくりの実現に取り組みます。また、横浜経済の活性化につながります。

### 少 子社会。子育て支援で明るい未来



制度の充実に加え、待機児童の減少や多様な育児支援が前進しました。  
○小児救急電話相談(201~1174)  
○産科あんしん電話(228~1103)  
○救急医療情報センター(201~1199)  
○救急医療情報・相談ダイヤル(#7499)

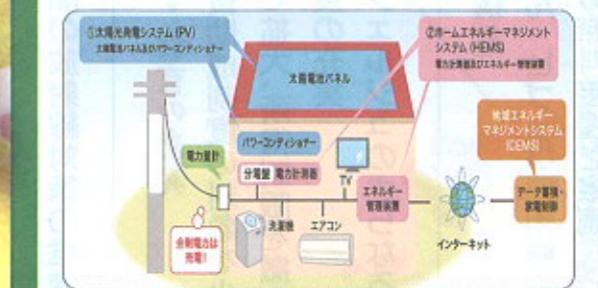
コ社会、一人ひとりが立役者

持続可能な社会への転換のため、毎日の暮らしの中で「エコ活」を続けることが大切です。

○G30(ゴミ削減)からヨコハマ3R夢(スリム化抑制、再利用、資源化)へ、循環型社会のバージョンアップを推進

○電気を無駄なく使う暮らし方(ホームエネルギー・マネジメントシステム(HEMS))の導入等に助成

○産業分野でのグリーンエネルギーへの転換





公明党横浜市会議員団  
副幹事長

## 高橋 正治

市長は、マイクロスポットへの対応についても、放射線量測定事業のねらいについて質問しました。

市長は、マイクロスポットへの対応については、今回の補正により、各土木事務所3台の測定機器配備の目途が立つたため、すべての公園と子どもが多く利用する施設の周辺道路等を計画的に測定していくことにより、安全を確認し、市民に安心を取り入れるなど、工

市長は、より多くの方々に、津波からの避難を呼びかけることは大切なことであり、ライトにより視覚に訴えた「ツナミ」を強調した放送内容を

## 新年度トピックス

### 「保育コンシェルジュ」の充実(増員)が図られます

平成22年第2回定例会で私が提案し、導入された保育コンシェルジュが、現在の1区1人から、増員される予定です。多様な保育資源を保護者のニーズにマッチしたサービスを案内するコンシェルジュの充実により、在宅の子育てから保育所、幼稚園、小学校教育への円滑なつながりが持たれ、人間形成にとってもとても重要です。今後も“子どもたちのための総合的な施策”の充実に、一所懸命に取り組んでまいります。

**津波警報システム整備について**

市長は、より多くの方々に、津波からの避難を呼びかけすることは大切なことであり、ライトにより視覚に訴えた「ツナミ」を強調した放送内容を

耳の不自由な方や外国人にも配慮したシステムにすべきであると提案しました。

**市庁舎LED化の推進について**

照明のLED化が進んだ段階で、節電・省エネ等の効果を市民にわかりやすく公表すべきと主張しました。

市長は、LED化による節電・省エネ効果を市庁舎に掲示したり、横浜市のホームページを活用することなどにより、積極的なPRに努めると答えました。

心していただくことがねらいであると答えました。

また、放射線対策に要した費用について、東京電力に求償すべきと主張しました。

市長は、東京電力からは、地方自治体が行っている放射線対策全般についての具体的な賠償基準、スケジュールについては、いまだ明確にされていない。そのような状況ではあるが、本市が実施した放射線対策費用の全額を年度内に賠償されよう、東京電力に強く求めていくと答えました。

夫しながら対応するし、加えて文字によつて迅速に津波情報を伝えられるエリメールなども活用し、より多くの方がいち早く避難できるよう対応していくと答えました。



沿岸部約7,700カ所にされる「海拔表示」  
公明党の提案で4カ国語表記が実現

# 平成23年第4回市会定例会から

## 市民相談

お気軽に何でも  
ご相談下さい

横浜市会議員（緑区選出）

高橋まさはる

電話：929-5305 FAX：931-8798

<http://www.masaharu.info/>

〒226-0011 横浜市緑区中山町320-5

